

# SillHa運用事例レポート



## ご施設情報

・歯科医師 常勤 1名 非常勤 1名 ・歯科衛生士 常勤 2名 時短 2名 ・チェア 5 台

## 運用目的

患者自身のリスクを知ってもらうことで、治療だけではなく予防について意識を高め、行動に移してもらうきっかけを作るため

## 検査対象

初診患者 SPT移行患者 メンテナンス移行患者

検査価格 1,100円

## 検査案内

### タイミング

初回来院時、初診カウンセリングにて

### 担当

担当の歯科助手

### 紹介方法

写真カウンセリングを担当した歯科助手がまずスライドを見せながら検査の紹介

## POINT1

初回来院時、チェアサイドにて

担当の歯科衛生士

チェアにて担当の歯科衛生士から再度検査について確認する。

担当の歯科衛生士

「あなたはお口の病気になるやすいのか、なりにくいのか?考えたことはありますか?頑張って磨いているのに虫歯になる方もいれば、全く磨かなくてもお口の病気になるににくい方もいるんです。

唾液検査を行うことで、さらに自分自身のリスクを知ってそのリスクあったセルフケアをご提案させていただくことができます。ご自分の健口を守るための近道を知るために次回唾液検査を行いましょう。」

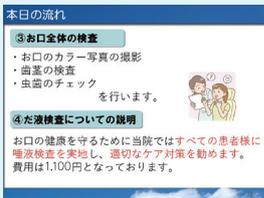
SillHa資料「唾液検査のメリット」



SillHa資料

### ツール

初診カウンセリングスライド



## 検査日時・注意事項の確認方法

検査承諾後、担当の歯科衛生士から次回来院時に飲食・歯磨きをしてこないように注意事項をまとめた資料をお渡りする。

## 検査の実施

### 担当

その日の担当歯科衛生士又は歯科助手

### 主な診療内容

スケーリング、PMTC、TBIなど

### タイミング

2回来院時、チェアへご案内してすぐ

## POINT2

## フィードバック方法

### 担当

その日の担当歯科衛生士

### 所要時間

15分程度

### ツール

・SillHa資料「患者配布資料」3枚つづり  
・初診時に実施した歯周精密検査の結果  
・口腔内写真、レントゲンなど

### SillHa資料



歯周組織検査表

歯番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
歯肉指数												
IPD												
プラーク												
フロー												
IPD												
歯肉指数												



## 検査後の活用方法

リスクに応じたセルフケアグッズの提案、補綴の説明

## POINT3

## 2回目以降の検査について

### 紹介

SPT、またはメンテナンスに移行する前の検査のタイミングでおすすめ

### 検査の実施

初回SPT時、または初回メンテナンス時

### 検査価格

1,100円



POINTは裏面をご確認下さい!

初診時

2回来院時

3回来院時

4回来院時以降

# SillHa運用事例レポート

## POINT1

### 患者さんに検査実施を承諾してもらえるポイント

検査の案内は、初診時に2回実施しています。



その日の担当の歯科助手

1 まず初診カウンセリングのスライドにて、唾液検査というものを簡単に紹介します。

2 ・パノラマ・口腔内写真・歯周病検査の検査結果報告

・主訴部分の状態・全身疾患や現在の口腔ケアの方法・間食について聞き取り

・現在までのセルフケアやお口の状態について振り返り



その日の担当の歯科衛生士

3 ・その後に改めて唾液検査の案内を実施

## POINT

患者さんは検査結果や問診を重ねたことで、**自分自身の口腔内に興味が出てきている状態**のため、唾液検査を実施することでさらに知りたいという思いが沸き、約9割の患者さんから検査の承諾をいただいています。

その日の担当の歯科衛生士

## POINT2

### フィードバック時のポイント

## POINT

唾液検査の結果だけではなく

・初回に行った検査結果



・スケーリング時に確認したプラークの状態

・口腔内の乾燥度合い



・今までの治療や全身疾患について



・現在実施しているケア方法・ケアグッズ

・ご自身の間食の取り方やライフスタイル



なども考慮しながら唾液検査を読み解き、患者さんへのフィードバックに繋げています。

## POINT3

### 検査結果の活用ポイント

初診時だけでなく、メンテナンスやSPTに入る前に

検査結果について、もう一度振り返ってお伝えしています。

## POINT

- ・ご自身の検査結果はどのようなものだったか？
- ・せっかく安定した歯周病も、状態が悪化したり、後戻りしてしまうことがあること。
- ・状態が悪化したり、後戻りする可能性が自分にはどのくらいあるのか？

検査結果を見ながら振り返ることで、今後のメンテナンスやSPTの必要性について理解して頂き、継続した来院を促しています。

